



花見川区ニュース
2012年 新春号
民主党 以民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
puress@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

国民の「生活が第一」



県議会議員 大川ただお 新春 県議会報告

第 16 号

平素より温かいご支援ご指導を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、私にとって、人生の大きな転機となりました。4月の統一選までたった3カ月しかない準備期間、そして、あの大震災。「選挙なんかやってる場合か！」と怒鳴られながらの自粛選挙、新人の私には、本当に厳しい戦いでした。皆様から頂いた。1万3千302の民意を胸に刻ませ、決して忘れることなく責任を噛みしめながら、誠心誠意、懸命に毎日を務めて参りました。

昨年、3月11日に発生した東日本大地震では、未曾有の被害が生じました。千葉県でも、20名の方が亡くなり、2名の方がいまだ、行方不明です。地震、津波、液状化現象、そして福島第一原発による放射能汚染という今まで経験したことのない甚大な被害が生じ、これら被害からの復旧・復興によって私たち国民、そして県民生活の安心を回復する事が、まず何よりも喫緊の課題であります。県としてもその対応、予算編成が、昨年5月の臨時議会、6月、9月、12月定例県議会で議論されました。一方、高齢社会に伴う社会保障費の増大、少子化に伴う「人口減少社会」という局面に対応するための、持続可能な新しい社会づくりの制度設計が、今求められています。

昨年11月、世界一幸せなと言われる、ブータン国王夫妻が来日されました。経済的な豊かさよりも、社会的な、人間的な幸福、国民幸福度を重視し、そして国王の礼儀正しさ、謙虚さ、われわれ日本人が忘れかけていた、「人と人とのつながり」や「絆」が大切という事を改めて思い起こされました。依然として、県政には多くの課題が山積しております。私は、人とひとがふれあい安心して暮らせる「人にやさしい県政」を目指し、邁進していく決意を新たにしているところであります。 **頑張ろう日本！がんばろう千葉**

平成24年 新春 県議会議員 **大川忠夫**

12月定例千葉県議会 議案について

議案第1号 平成23年度千葉県一般会計の補正予算

補正額は、105億6200万余円の増額で、補正後の予算額は、1兆6808億5000万余円となりました。本県を含む特定被災地方公共団体9県が設置する復興基金について、国から特別交付税が措置されることになり、本県には、30億円が交付されることから、「東日本大震災市町村復興基金」を創設。今後、市町村が地域の実情に 応じて行う、住民生活の安定やコミュニティの再生等の取組を支援。

国からの「地域医療再生臨時特例交付金」66億2000万余円を積み立て、これを活用して、看護学校の新設等に伴う施設整備への助成。

議案第13号及び議案第16号は、国民宿舎 サンライズ九十九里の譲渡について、宿泊施設として活用、地域振興拠点としての役割を継続、現在の従業員の雇用維持という条件を付した上で関係条例を廃止し、一般財団法人千葉県観光公社に譲渡を議決。

議案第18号から議案第39号までの22議案は、公の施設「指定管理者」の指定について議決。



12月8日、一般質問に登壇

【生活保護等について】大川質問

生活保護等について、受給者の状況や無料低額宿泊施設の状況と対応。また、貧困の連鎖を止める対策や就労支援は。

健康福祉部長答弁 ・生活保護の受給状況は、39,970世帯、55,182人で増加傾向にあり、今後単身高齢者の増加が見込まれます。無料低額宿泊施設は、県所管1,272人が保護費を受給。22年度、県は約1億1千万円を支弁。貧困の連鎖を防止するために、子どもたちの学習支援、進学等の支援を行い、安定した就職につなげることを働きかけて参ります。

【児童福祉について】大川質問

児童福祉について、情緒障害児短期治療施設の設立の件、また児童養護施設で働く職員数職員配置基準が、25年度までに条例制定化する運びとなり、子どもの養育環境の整備、対応等は。

健康福祉部長答弁 ・情緒障害児短期治療施設の設置に向けて、検討を進めていきたい。職員配置基準は、条例を制定するにあたり現場の意見を聴き調整を図り、24年度中に条例案を制定する予定でございます。

【消防救急・無線のデジタル化整備等について】大川質問

消防救急・無線デジタル化への対応として、消防団車両無線機の整備や市町村負担の状況。今後の消防力強化等は。

防災危機管理監答弁 ・デジタル化に向け、25年4月からの運用を目指し整備。消防団車両無線は市町村と検討を進め、基地局整備に係る市町村負担については、約58億5千万円を見込み、市町村個別整備と比較し約20億円の軽減を図ります。消防力の向上に向け強化拡充を行います。

【千葉港港湾整備について】大川質問

千葉港は全国2位の貿易港にもかかわらずいまひとつ無機質で賑わいに欠ける。今後の千葉港まちづくり振興策や船舶の大型化に対応した岸壁水深の確保、整備などの今後の取り組みは。

森田知事答弁 ・千葉港は、本年度国際拠点港湾として指定され、3万トン級船舶の接岸が可能な岸壁を整備、追加し千葉港臨海部の街づくりと連携して、緑地や旅客船棧橋2基の整備に着手し賑わいのある空間を創出。水深は、浚渫を行い港湾整備の推進に努めてまいります。

2月予算委員会で、登壇致します。

地域の皆様からのご意見、ご要望がございましたら、お申し付け下さい。

県議会議員 大川忠夫 事務所

〒262-0018

花見川区畑町599-17

TEL 043-272-3888

FAX 043-272-3889

<http://www.ookawatadao.com>

E-mail:ookawajimusyo@car.ocn.ne.jp

